

自宅ライブで基礎完成

10日間  
集中

オンライン朝授業

# 要点まとめシート

漢字・語い

## ことわざ

・意味と用例をセットで覚えよう！

果報は寝て待て

幸せは人の力だけでつかみとれるものではないから、あせらずに運が向いてくるのを待てばよい。

良薬は口に苦し

本当に自分のためになる忠告は、聞くのが辛いものである。

情けは人のためならず

人に親切にすれば、その人のためになるだけでなく、めぐりめぐって自分にもよい結果が返ってくるものだ。

人のふり見て我がふり直せ

人のすることをよくないと思うときは、自分はどうなのかを反省し、悪いところは直しなさい。

背に腹はかえられない

大切なことのためには、少しぐらいの犠牲は仕方がない。

あぶ蜂取らず

あれもこれもと欲張ると、結局どちらもうまくいかない。

二階から目薬

やり方が回りくどくて、効果がないことのたとえ。

木を見て森を見ず

小さいことばかりにとらわれて、全体が見えないことのたとえ。

急がば回れ

物事を急ぐときこそ、遠回りに思っても安全な手段を取ったほうが、よい結果になるということ。

石橋をたたいて渡る

用心をしたうえで、さらに用心をすること。

転ばぬ先の杖

失敗しないように、あらかじめ用心するということ。

渡る世間に鬼はない

世の中は暮らしにくく、情けもないように見えるが、そんな世の中にも心の優しい人はいるものだ。

旅は道連れ世は情け

旅先でよい仲間がいることは頼もしいし、また、世の中を渡つていくには人情が必要だということ。

かわいい子には旅をさせよ

子どもがかわいいなら、他人の中に出して苦労させたほうがよい。

魚心あれば水心

相手が自分に対して好意を見せれば、自分も相手に好意を持つ用意があるということ。

売り言葉に買い言葉

けんかをしかけるような相手の言葉に対して、同じように言い返してけんかになること。

好きこそ物の上手なれ

好きだからこそそのことを熱心にやるので、自然と上手にもなるものだ。

覆水盆に返らず

一度してしまったことは取り返しがつかないということ。

仏の顔も三度

どんなに情け深い人であっても、たびたびひどいことをされれば、ついには怒る。許すにも限界があるということ。

一寸の虫にも五分の魂

どんなに小さくて弱いものでも、それ相当の意地があるから、ばかにはできない。

類は友を呼ぶ

趣味や考え、性格などが似ている人たちは自然に集まってくるものである。

# 現代仮名遣いに直すときのルール

・基本的なルールと代表的な例をしつかり覚えよう！

### その①

語頭・助詞以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」↓

「(わ)・(い)・(う)・(え)・(お)」に直す。

※ただし、複合語はもとの語に分けて考える。

[例] 言ふ ↓ 言う

うへ(上) ↓ うえ  
にほひ ↓ におい

### その②

「ア段の音+う(ふ) ↓ 「オ段の音(+)う(う)」「イ段の音+う(ふ) ↓ 「イ段の音(+)ゆ(う)」「エ段の音+う(ふ) ↓ 「イ段の音(+)よう(う)」に直す。

[例] ほう がく(方角) ↓ ほう がく

てふ(蝶) ↓ ちょう  
きふ(急) ↓ きゆう

### その③

「ゐ ↓ 「い」「ゑ ↓ 「え」」に直す。  
「(助詞以外の)を」 ↓ 「お」に直す。

[例] むど(井戸) ↓ 井戸

こゑ(声) ↓ こえ  
をがむ(拜む) ↓ おがむ

### その④

「ぢ ↓ 「じ」「づ ↓ 「ず」」に直すことが多い。

[例] あぢ(味) ↓ あじ  
みづ(水) ↓ みず

### その⑤

「くわ ↓ 「か」「ぐわ ↓ 「が」」に直す。

[例] くわ ほう(果報) ↓ かほう  
ぐわ んたん(元旦) ↓ がんたん

### その⑥

「む ↓ 「ん」「なむ ↓ 「なん」」に直す。

[例] やむ(となし) ↓ やん(となし)  
これなむ ↓ これなん

## 覚えておきたい古語

・古語ならではの意味、現代語の意味との違いに注意しよう！

いとーとても。非常に。

つれづれなりーすることがなくて退屈だ。

やむごとなしー格別だ。高貴だ。尊い。

やうやうー次第に。だんだん。

うしー辛い。苦しい。いやだ。

よにーたいそう。まったく。

ともがらー仲間。同輩。

驚かすーはつとさせる。起こす。

かなしーかわいい。いとおいしい。かわいそうだ。

まもるーじつと見つめる。見張る。

ありがたしーめったにない。尊い。

あやしー不思議だ。身分が低い。見苦しい。

をかしー趣がある。愛らしい。

はづかしー立派だ。気づまりだ。

いたづらなりーつまらない。むだだ。役に立たない。

めでたしーすばらしい。



## 敬語

・動作主を確認し、正しく使い分けよう！

美化語	丁寧語	謙譲語	尊敬語
「お」「ご」を使い、自分自身の言葉遣いを丁寧にする意図で用いる。	丁寧な表現を使って、敬意を表す。	へりくだった言い方で相手への敬意を表す。	動作主に対し、敬う気持ちを表す。

言う

尊敬語 | おっしゃる

謙譲語 | 申す・申し上げる

来る

尊敬語 | いらっしゃる

謙譲語 | 参る

見る

尊敬語 | ご覧になる

謙譲語 | 拝見する

食べる

尊敬語 | 召し上がる

謙譲語 | いただく

行く

尊敬語 | いらっしゃる

謙譲語 | 伺う

転換	説明・補足	対比・選択	並列(並立) ・累加	逆接	順接
前後で話題が変わっている 例・さて・ところで・では	前の事柄の説明や補いがあるとにある 例・つまり・なぜなら	前後の事柄を比べたり選んだりする 例・または・あるいは・もしくは	前の事柄に並べたり、付け加えたりする内容 があるとにある 例・また・それに・および	前後の内容が逆 例・しかし・ところが・だが	前後の内容が(原因・理由↓結果)の関係 例・だから・したがって・そこで・すると・ゆえに

## 接続語

・接続語の前と後の関係をとらえよう！